

# 国史跡指定 飯田古墳群

## 日本の国の成り立ちを知る上で重要な古墳群

飯田市内にはかつて520基を超える古墳がありました。特に現在残る18基の前方後円墳と4基の帆立貝形古墳のまとまりを「飯田古墳群」と総称しています。このうち、条件の整った11基の前方後円墳と2基の帆立貝形古墳が、平成28年10月3日に国史跡に指定されました。飯田市内での国史跡指定は、恒川官衙遺跡に続いて2例目です。

◎問い合わせ／生涯学習・スポーツ課 内線3752

### ヤマト王権との密接な 関係を示す飯田古墳群

長野県内にある前方後円墳の約半数が飯田市内に存在しています。これは古墳時代中期にあたる5世紀後半から突然造られはじめ、6世紀まで連続して造られます。

ヤマト王権は、軍事的な役割と国内の交通・運輸機能の発展のために、人やモノを運ぶのに適した動物である馬を大陸から導入し、内陸交通に必要な馬の生産管理拠点を飯田地域におきました。その結果、馬の文化がもたらされ、ヤマト王権との密接な関係を示す前方後円墳が造られるようになり、飯田古墳群は、飯田が1500年以上前から日本の国づくりに重要な役割を果たしたことを物語っています。

※ヤマト王権は、3世紀にはじまる古墳時代に倭国の王を中心に、複数の豪族が連合して出来上がり、全国に影響を及ぼした強力な政治権力で、その中心は奈良盆地にあつたとされます。

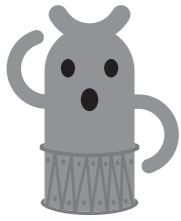
### 飯田古墳群の歴史的な価値 ～過去と現在、未来をつなぐ～

● ヤマト王権が内陸交通網の整備を行い、国づくりを進めていったことを、飯田という地方の側から知ることができます。

● 飯田古墳群の前方後円墳にみられる石室構造などの多様さからは、ヤマト王権の強い影響力を受けながらも、地方においては中小豪族それぞれが小地域を治めていたことを知ることができます。

● 内陸交通の重要地であることが、奈良・平安時代に西の都と東国を結ぶ結節点に位置する役所「伊那郡衙」の設置につながります。飯田古墳群から恒川官衙遺跡への歴史の流れから、日本の社会体制の大きな変化を地方の視点から見ることが出来ます。

● 1500年以上前から当地域が内陸交通の重要地として、日本の国づくりに大きな役割を果たしたことや、東西の多様な文化を積極的に取り入れて独自の文化をつくり出していったことがわかります。このことは今の時代にもつながる飯田地域の特性であり、リニア時代に向けた当地域のあり方を示す価値のある大切な歴史資産です。



### 後世に守り伝えたい古墳のある景観

飯田市教育委員会では、古墳を後世に確実に保存継承していくため、古墳の保存活用の方針を定めた計画を策定していきます。また、引き続き調査研究を進め、価値が明らかになった古墳については追加指定を行うとともに、その成果を広く情報発信していきます。

現在、古墳のある景観を地域のシンボルとして守り伝えていくための取り組みが、各地区で進められています。飯田古墳群が地域の成り立ちを知り、地域を大切に思う心を育て、まちづくりに活かされる歴史資産となるよう、地域の皆さんと協働して交流、学習の場としての活用を図っていきます。「来て、見て、納得 古墳の野外博物館」として、飯田古墳群を後世に守り伝えていきます。



### 飯田は「古墳の博物館」

内陸交通の拠点として馬の飼育・管理を担った飯田の地には、当時の最先端の文物（鏡・よろい・かぶと・馬に付ける道具など）や技術（馬の飼育など）がもたらされました。さらに、中央の豪族や、東の地方豪族と新たなつながりができたことにより、個性豊かな古墳文化が生まれました。

飯田古墳群は、石室の構造が画一的ではなく多様です。それは、飯田がヤマト王権のある西の地域だけでなく、東の地域とも交流があつたことを示すものです。いろいろな地域の影響を受けた古墳が存在し、いろいろな構造の横穴式石室を実際に見ることが出来る飯田は、まさに「古墳の博物館」です。



飯田古墳群の出土品などについては、生涯学習スポーツ課 内線3752へお問い合わせください。

### 地域の宝を守り活用していく

竜丘古墳の会 会長 下平 勝熙さん

竜丘地区には、国史跡に指定された古墳6基を含め26基の古墳が現存しています。竜丘古墳の会のメンバーが中心となつてこれらの古墳の環境整備作業や学習活動などを行っています。また、小学生が行う地区内の古墳巡りや埴輪づくりなど、ふるさと学習のお手伝いもしています。毎年6月には、古墳文化に触れながら幅広い世代が交流するイベント「古墳まつり」を開催し、火おこしや埴輪の野焼き体験などを行っています。来年は節目の10回を迎えるので、よりいっそう盛り上げていきたいと思っています。

飯田古墳群の国史跡指定を受け、これまで以上に地域の宝である古墳の保存や活用に向けて取り組み、住民の皆さんとしっかりその価値を共有していきたいと思っています。



塚原二子塚古墳の前で熱く語る下平さん

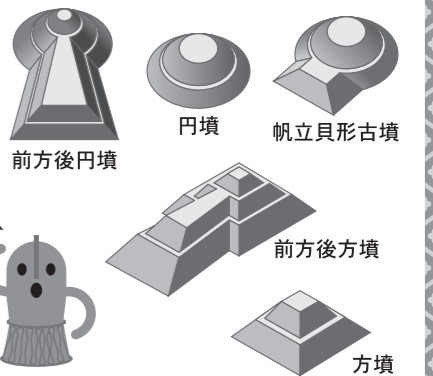


古墳まつりで埴輪作り

塚原二子塚古墳から見える南アルプスの山並みはとても美しく、1500年以上の昔から先人たちもこの景色を見ていたと思うと、古代ロマンに胸がおどります。そしてこの地域が昔から住みやすく、安全な地域であることも証明していると感じています。

### 古墳の種類

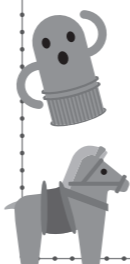
古墳は、3世紀から7世紀にかけて造られた当時の有力者たちのお墓で5つに大別されます。飯田古墳群を構成する主な古墳は、前方後円墳と帆立貝形古墳です。



### 国史跡 飯田古墳群の企画展 を開催します。

場所  
飯田市美術博物館

会期  
平成29年  
7月15日(土)～10月1日(日)





# 国史跡指定 飯田古墳群の紹介



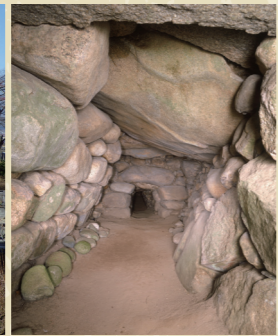
**1 高岡第1号古墳 (座光寺)**  
前方後円墳・墳丘長72.3m・横穴式石室・6世紀前半

高岡神社の境内地にある古墳で、保存状態は良好です。後円部にある横穴式石室は、墳丘の大きさに比べると小規模ですが、石室入口の両側に石を立て、内部も平石を立てて並べるなど構造に特徴があります。石室構造から九州や朝鮮半島との繋がりが考えられます。石室内の赤彩も残っています。



**2 飯沼天神塚(雲彩寺)古墳 (上郷)**  
前方後円墳・墳丘長74.5m・横穴式石室・6世紀前半

かつて前方部に天神社が祀られていたことから天神塚古墳とも、雲彩寺境内にあることから雲彩寺古墳とも呼ばれています。後円部に残る横穴式石室は、細長い通路をもつのが特徴です。構造の類似性から群馬との関係が考えられます。



**3 水佐代獅子塚古墳 (松尾)**  
前方後円墳・墳丘長60m・5世紀後半

墳丘は削平されていますが、市天然記念物「水佐代獅子塚のエドヒガン」(おたちふの桜)がある古墳として親しまれています。後円部には石室があったと伝えられていますが、現在は見る事ができず、構造は不明です。

**4 御射山獅子塚古墳 (松尾)**  
前方後円墳・墳丘長58m・横穴式石室(推定)・5世紀末～6世紀

一部削られています保存状態は良好です。後円部の直径に比べ、前方部の幅が広く張り出しており、前方部の方が高くなっているのが特徴です。石室があったと伝えられていますが、現在では確認できません。



**6 上溝天神塚古墳 (松尾)**  
前方後円墳・墳丘長40(推定41.5)m・横穴式石室・6世紀中頃

墳丘上に天神社が祀られていることから天神塚古墳と呼ばれています。墳丘は削られています。発掘調査で墳丘のまわりに二重に溝がめぐることがわかっています。後円部に残る横穴式石室は、花こう岩の自然石を積み上げたもので、細長い形状が特徴です。



**5 姫塚古墳 (松尾)**  
前方後円墳・墳丘長40m・横穴式石室・6世紀前半

後円部には氏神様が祀られています。後円部にある横穴式石室は小規模ですが、河原石を積み上げて造られた石室内部には赤彩が良く残っています。



**7 おかん塚古墳 (松尾)**  
前方後円墳・墳丘長20(推定50)m・横穴式石室2基・6世紀後半

墳丘の北側半分が大きく削られているため、円墳のようにみえますが、本来は前方後円墳です。前方部と後円部の両方に横穴式石室がありましたが、現在は後円部の石室のみが残っています。花こう岩の巨石を用いた大型の横穴式石室で、天井が高く、石室の入口からみて奥が広がっているのが特徴です。



**8 大塚古墳 (竜丘)**  
前方後円墳・墳丘長50(推定53)m・竪穴式石室(推定)・5世紀後半

前方部は削られていますが、横から見ると前方後円墳であることがよくわかります。



**9 塚原二子塚古墳 (竜丘)**  
前方後円墳・墳丘長73m・竪穴式石室(推定)・5世紀末

塚原二子塚古墳、鏡塚古墳、鎧塚古墳を中心に大小16基の古墳があったとされることから、塚原古墳群と呼ばれています。周辺景観とともに良好な姿を残す古墳群です。塚原二子塚古墳は、発掘調査で八二フがみつかり、墳丘のまわりに二重に溝がめぐることが確認されています。



**10 鏡塚古墳 (竜丘)**  
帆立貝形古墳・墳丘長45m・竪穴式石室(推定)・5世紀後半



**11 鎧塚古墳 (竜丘)**  
帆立貝形古墳・墳丘長40(推定45)m・竪穴式石室(推定)・5世紀末



**12 御猿堂古墳 (竜丘)**  
前方後円墳・墳丘長65.4m・横穴式石室・6世紀中頃

墳丘上は墓所となっていますが、古墳の外形は比較的良く保たれています。発掘調査で墳丘のまわりに二重に溝がめぐることがわかっています。後円部にある横穴式石室は細長い形状です。国重要文化財の画文帯四仏四獣鏡が出土したことで知られています。



**13 馬背塚古墳 (竜丘)**  
前方後円墳・墳丘長46.4(推定50以上)m・横穴式石室2基・6世紀末

後円部と前方部に巨石を用いた横穴式石室があります。後円部の石室は細長い形状で御猿堂古墳の石室と同じですが、前方部の石室は畿内にある古墳の石室と極めて良く似ています。その構造から、飯田古墳群の中で最後に造られた前方後円墳と考えられます。



飯田古墳群 位置図

- 8 大塚古墳
- 9 塚原二子塚古墳
- 10 鏡塚古墳
- 11 鎧塚古墳
- 12 御猿堂古墳
- 13 馬背塚古墳

- 1 高岡第1号古墳
- 2 飯沼天神塚(雲彩寺)古墳
- 3 水佐代獅子塚古墳
- 4 御射山獅子塚古墳
- 5 姫塚古墳
- 6 上溝天神塚古墳
- 7 おかん塚古墳